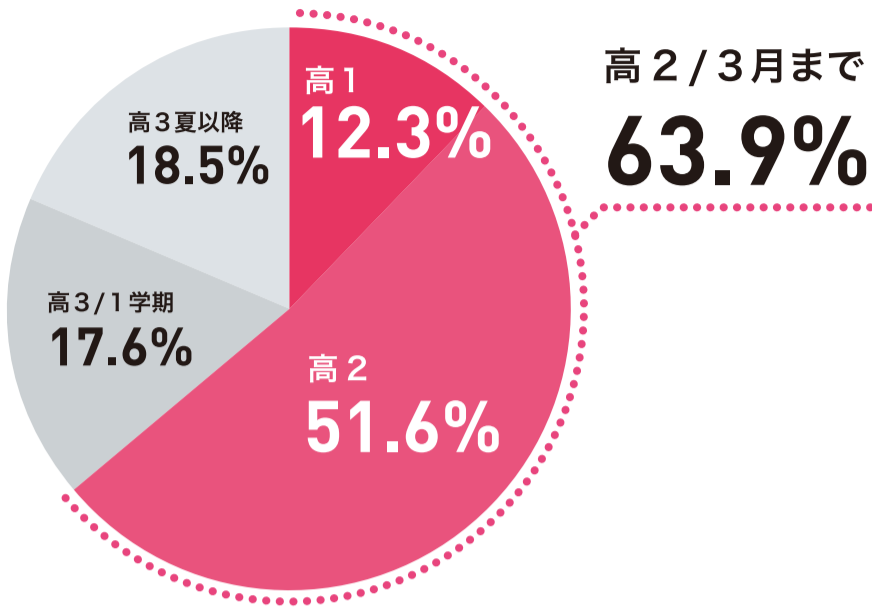


資料3 受験勉強開始時期 (難関大現役合格者)

Memo 難関大合格者の約3人に2人が「高2の3月までに受験勉強開始」



さっそく難関大合格者の「受験勉強開始時期」を見ていこう。資料3のデータを見ると、受験勉強開始時期は「高1」が12.3%、「高2」が51.6%であり、合計63.9%が高2の3月までに受験勉強を開始していた。

難関大を受験するから高2の3月までのスタートは、もはや常識。P・1の「志望校決定時期」とこの「受験勉強開始時期」を比べてみると、ほぼ同じ割合であることがわかる。つまり、志望校を決めると同時に、受験勉強を開始していることがうかがえる。

目標ができる、達成に向けて具体的な計画を立てて実行に移すことができる。いち早く目標を設定し、学習に取り組むことが難関大現役合格への第一歩だと言えよう。

63.9%の難関大現役合格者が「高2の3月までに受験勉強開始」

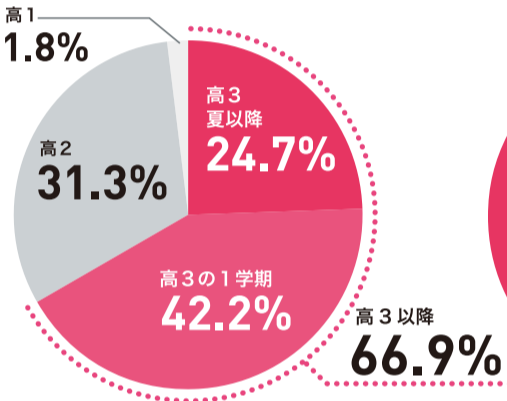
速報

合格発表直後 アンケート調査

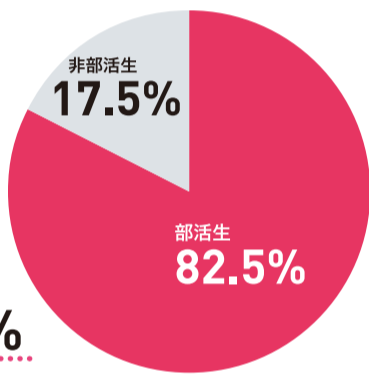
早期受験勉強スタートで難関大を制する！

資料5 部活動の引退時期

Memo 難関大現役合格者は「文武両道」が多数派！



資料4 部活生の割合 (難関大現役合格者)

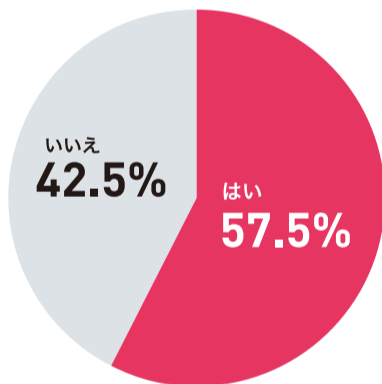


次に、難関大現役合格者の部活動の所属状況について調査した結果を紹介しよう(資料4)。難関大現役合格者のうち、部活生は82.5%であった。さらに、引退時期を調べた資料5によると、難関大現役合格者の部活引退時期は高3が最も多く66.9%にも上った。

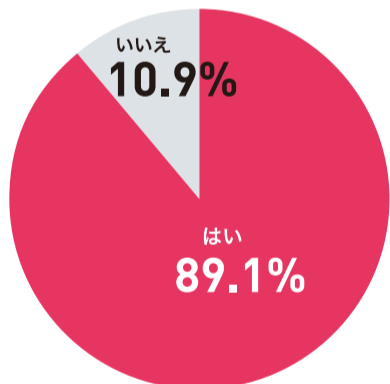
合格者の多くが、部活で培った集中力を受験勉強にも生かし、部活と両立しながら、高校生活に悔いのないよう完全燃焼したうえで入試本番に臨んでいたようだ。今後は最終学年まで部活と両立するうえでの勉強方法にも注目していきたい。

82.5%の難関大現役合格者が「部活動と両立」

資料7 実際の受験を通じて、その影響を感じましたか？



資料6 難関私大の定員減化に伴う合格者絞り込みについて知っていましたか？



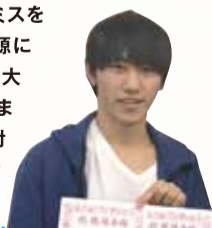
また、難関私大の定員厳格化に伴う合格者の絞り込みが行われていることについて、難関私大受験者に聞いたところ(資料6)、実に89.1%の受験生がこの事実を知っていた。さらに実際の受験を通じて、その影響を感じていたかとの質問には(資料

7)、6割近い受験生が「はい」と回答した。難関国立大に限らず、難関私大の合格も今後一層狭き門になる可能性がある。いち早く受験勉強をスタートできるかがますます重要になるだろう。

89.1%の難関私大受験者が合格者の絞り込みを知っていた

実力講師陣の授業で勉強の本質を知った

おススメの講座は苑田先生の「ハイレベル物理」です。最初はとて難しくくじけそうになりましたが、繰り返し受講し理解を深めていくうちに物理の本質を知ることができ、高3の秋には物理を完成させることができました。受験本番では物理でのミスは最小限に抑えられ、大きな得点源になりました。また林先生の京都大学過去問の解説授業では、これまで曖昧に解いていた現代文に対する姿勢が大きく変わるきっかけになりました。



永野 李央くん
京都大学 工学部
東京都立 西高校 東進 OB

現役合格

自主性を尊重してくれ、自らの計画で進めることができました

周囲に東進に通っている人が多く、高2のときに東進に入学しました。おススメの講座は長岡先生の「数学ぐんぐん [応用編]」です。良い問題を多く扱っているので、演習も重ねられます。東進で思い出深いのが「グループ・ミーティング」です。担任や担任助手の先生方は自主性を重んじてくれて、自分で進めている様子をいつも見守ってくれていました。自分で計画を立てて受講をどんどん進め、受講以外の自習も東進で取り組みました。



佐竹 良太くん
東京大学 文科二類
滋賀県立 膳所高校卒 東進 OB

現役合格

東進生 合格速報

合格者の声
2018